



吉原 美智恵 議員

元気な高齢者を 地域の支え手にしては？

町長

仕組みを検討する



お茶を楽しむ高齢者

【吉原】本町は、高齢化と過疎化に悩まされている。

元気な高齢者に何らかの形で仕事をし、地域の支え手として活躍してもらい、自助・自立の基礎を築いてはどうか。

【町長】元気な高齢者に活躍していただくことは、たいへん重要なことであり、シルバー人材センターなどでも活躍されている。自助・自立の仕組み作りは検討

していく。

【吉原】例えば高齢者の「老働力」を、有償ボランティアとして、介護予防事業などで活用してはどうか。行財政改革の一端を担いながら、生き生きと働かれる姿は、町の将来ビジョンにつながるのではないか。

【町長】今10年プランの取り組みを進めている。現場からのニーズも踏まえ、いろいろな取り組みの中で、提案をする。

認知症予防の取り組みは？

町長

啓発活動を進める

【吉原】県内の認知症高齢者は約1万7千人で、予備軍も含めるとたいへん深刻な状況である。

認知症の早期発見や地域全体で支える取り組みは進んでいるか。

【町長】認知症サポートー養成講座を集落や各種団体、町内の全小中学校まで広げている。また、認知症講演会も行い、普及啓発を進めている。

【吉原】認知症の早期発見につながるタッチパネルの利用はされているか。

【町長】1台使っているが、更新の時期が近づいているので、増設も含

め検討する。

【吉原】「広報だいせん」で久野先生が、認知症予防のために、プロットコリーと青魚の摂取を

薦めている。本町の特産品なので、町をあげて取り組んではどうか。

【町長】食生活を含め、健康づくりを進めていく。



認知症について学ぶ小学生